

令和時代の教育スタイル

伊豆の国市 GIGA スクール構想

～個別最適な学びと協働的な学びの実現～

月 日 ()
日 直 ()



写真を見せて英語のスピーチをします。話の内容が相手にも伝わりやすいです。

電子黒板にうつしながら、自分の考えを説明すると友達もわかりやすいね。



国語の授業で、安全マップを作って班で発表しました。簡単に写真に書き込めるからとても便利です。



植物の成長を記録したり、観察したことを保存して、後で確認したりします。



職場見学でわかったことをプレゼンテーションソフトを使って発表しました。



教室で写真を撮ってみたよ。動画もとれるから色々撮ってみたいな。



何度も書いたり消したりできるよ。



写真を見ながら色をつければ細かい部分までぱっちり塗れるね。



メロディーを何度も聞いて歌い方を研究しています。

「植物の種子が発芽する
ために何が必要なのかな？
自分の予想を書いてみて。」
先生が質問すると、子供たちは手元の端末を使って、考えを記入していきます。「書き終わった人は提出箱に提出してね。」先生の一言で、目の前の電子黒板にみんなの考えが即時に示されていきます。早く書き終わった子どもは、自分の端末を操作しながら友達のことを確認しています。

このように伊豆の国市の小中学校では、電子黒板や、クロムブックと呼ばれる一人一台端末を使い、子ども自身が試行錯誤して考えを深め、積極的に意見が交わされる授業や、コロナ禍における新しい学校行事などへの活用が進んでいます。電子黒板は、パソコンの画像をそのまま画面に映し出して拡大して見ることができたり、映したグラフや写真に直接文字を書き込んだりすることもできます。授業の予定を電子黒板に表示している学級もあります。これまで以上に子どもたちが友達と協力し合いながら学びを深め、お互いの意見から多くを学ぶことができます。

また、AI型ドリルソフトを使い、自分の習熟度にあった各教科の問題を解き、何度も復習したり、自分の学習を進めたりしています。

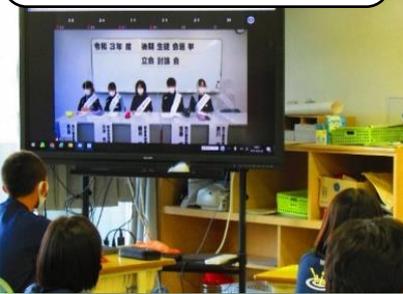
さらに、災害時や休校時には端末を持ち帰り、学校と自宅をつなぎ、端末を通じて課題を受け取ったり、先生や友達とコミュニケーションをとったりすることが出来ます。

こんなふうに学んでいます



★こんな場面でも活用しています★

オンラインによる
生徒会選挙立会演説会
& デジタル投票



全校で生徒総会も実施しました



リモートで薬学講座



みんな元気かな？
明日から
学校が始まるよ！



市内中学校の生徒会交流



長期休業中は、担任の先生
と朝の会を行いました。
各学校では端末を持ち帰り、
接続テストを実施して、
緊急時に備えています。

市内小学校間の交流会



運動会の開閉会式(上)や、6年生あ
りがとうの会(下)など、各行事
でもオンラインを上手に利用して実施
し、大成功を収めました。



6年生総合的な学習の時間
NHK大河ドラマのプロデューサーとリモート授業。
大河ドラマの制作について教えてもらいました。



～GIGA スクール構想とは～

GIGA(Global & Innovation Gateway for All)
とは、「すべての人に世界の様々な技術革新を利用
できるようにすること」です。デジタル社会
を生きていく上で、ICT 機器を活用して
自ら課題を考えて対応できる
思考力、判断力、表現力
などを身に付けていく
ねらいがあります。



先生方も ICT 機器やアプリ
の操作、授業での効果的な活
用方法について勉強中です。

